

各位

党派を超えて国家的課題を追求する

## 公益財団法人協和協会 時代を刷新する会

両団体会長代行 岸 信 夫  
両団体理事長 半 田 晴 久  
交通部会長 松 本 治 男  
専務理事 清 原 淳 平

### 交通部会のお知らせ(第260回)

日時 平成30年4月24日(火) 午後1時半～3時半  
場所 参議院議員会館 1階 102会議室  
千代田区永田町2-1-1

◆国会議事堂前駅(丸の内線・南北線)①番出口より下車5分、永田町駅(有楽町線・半蔵門線)①番出口より下車2分。当日、午後1時より、議員会館玄関にて、通行証を差し上げます。その時刻前に到着された方は、恐縮ですが、受付脇のロビーにてお待ち下さい。会議開始後にお越しの方は、受付に「102会議室に行きたい」旨お伝え下されば、お迎えに参ります。

- 議 題
- 1、最近の交通情勢について  
挨拶 松本治男 交通部会長(元近畿管区警察局長)
  - 2、自動運転に係る制度整備大綱について
  - 3、道路交通法施行規則の一部を改正する内閣府令案に対する意見の募集について
  - 4、春の交通安全運動の実施結果
  - 5、交通事故統計(3月中及び4月23日まで)  
解説 警察庁交通企画課 落合大地課長補佐(警視)

報 告 去る3月29日開催の第259回交通部会は、松本治男部会長が議長を務め行われました。

まず、松本部会長より、「最近の交通情勢について思う」と題して開会挨拶がありました。アメリカで、自動運転車による初の死亡事故が発生した。ドライブレコーダーの記録によると、夜間64kmで走行していたところ、三車線の中央に突如横断者が現れ、回避は不可能であったとみられる。これにメーカーも

ショックを受け、各社は自動運転の実験を中止したが、Googleのみ継続している。一方日本では、自動運転に係る制度整備大綱を30日に発表する予定で、来年の通常国会での成立を目指す。

次に、警察庁交通局交通企画課 落合大地課長補佐（警視）より、「平成30年春の全国交通安全運動の実施」について解説がありました。本年の重点は、特に小学生の登下校時の事故、高校生の自転車乗用中の事故減少に置かれている。特に、小学1年生は6年生の8倍歩行中の死亡事故に遭いやすい。また、高校では生徒に対しヘルメット着用の励行率がわずか7.7%であり、この点も課題である。

次に、「貨物集配中の車両に係る駐車規制の見直しの推進」について解説がありました。近年、宅配荷物の急増によって、業者から駐車規制の見直し要望が出ている。道路管理者の国交省と連携し、実態に合った取り組みを進めていく。

次に、「交通事故統計（2月中及び3月28日まで）」について解説がありました。1月は多少増加したが、2月は1日平均9人台を割って大きく減らし、3月も減少傾向は続いている。

この後、委員一同にて盛んな意見交換があり、以下のような意見が出ました。◎高校生のヘルメット着用率を向上させるには、死亡事故に直結しやすいことを強調するほかない。◎高齢者の死亡事故構成率は6割を超えた。免許返納の促進、交通ルールの啓発は急務だ。◎高速道路上での歩行中死者が昨年は22名いた。発煙筒の使用と併せ反射材の着用を義務付けたい。◎、人間の運転よりAIによる運転の方が安全ということが実証されるまで、自動運転の公道実験は慎重に行うべき。などの意見が出ました。

★ 資料代 会員500円  
次回、4月24日（火）の交通部会（参）に

出・欠（いずれかに○印）

事務局宛FAX 03-3507-8587

御芳名 \_\_\_\_\_

貴方様のFAX \_\_\_\_\_

電話 \_\_\_\_\_

**テロ対策への警備からの要請上、会員に限ります。**

**非会員で参加希望者は、2日前までに履歴書をご提出下さい。**

**（その際の会費は二千元となります。）**

協和協会事務局 ☎03-3581-1192 時代を刷新する会事務局 ☎03-3272-4320

HP <http://www.jidaisassin.jp> Eメール [kiyohara@jidaisassin.jp](mailto:kiyohara@jidaisassin.jp)